

安全データシート

作成 2008/07/01

改訂 2016/04/26

1. 化学物質等および会社情報

製品名 さわやか変身
会社名 アスカテック株式会社
住所 愛知県岩倉市大地町上千 15-1
電話番号 0587-65-3655
FAX 番号 0587-65-3633

2. 危険有害性の要約

【GHS 分類】

物理化学的危険性:	引火性エアゾール	区分 1
健康に対する有害性:		
急性毒性	経口	区分外
	経皮	区分外
	吸入(ガス)	区分外
	吸入(蒸気)	分類できない
	吸入(粉じん)	分類対象外
	吸入(ミスト)	分類できない
皮膚腐食/刺激性		区分外
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性		区分 2B
呼吸器感作性		分類できない
皮膚感作性		分類できない
生殖細胞変異原性		分類できない
発がん性		分類できない
生殖毒性		区分 1A
特定標的臓器毒性(単回暴露)		区分 3(気道刺激性、麻酔性)
特定標的臓器毒性(反復暴露)		区分 1(肝臓)、区分 2(中枢神経系)
吸引性呼吸器有害性		分類できない
環境に対する有害性:		
水生環境有害性(急性)		分類できない
水生環境有害性(慢性)		分類できない

【GHS ラベル要素】

絵表示:



注意喚起語:

危険

危険有害性情報: 極めて引火性の高いエアゾール (H222)
 高圧容器: 熱すると破裂のおそれ (H229)
 引火性の高い液体および蒸気 (H225)
 眼刺激 (H320)
 呼吸器への刺激のおそれ(気道刺激性) (H335)
 眠気やめまいのおそれ(麻酔作用) (H336)
 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ (H360)
 長期にわたる、または反復暴露により臓器の障害(肝臓) (H372)
 長期にわたる、または反復暴露により臓器のおそれ(中枢神経系) (H373)

注意書き:

安全対策

- ・使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
- ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)
- ・熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。ー禁煙。(P210)
- ・裸火または他の着火源に噴霧しないこと。(P211)
- ・涼しいところに置くこと。(P235)
- ・静電気放電に対する予防措置を講ずること。(P243)
- ・使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。(P251)
- ・ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しない、吸入を避けること。(P260+P261)
- ・取扱後は手や顔をよく洗うこと。(P264)
- ・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。(P270)
- ・換気の良い場所でのみ使用すること。(P271)
- ・保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。(P280)

応急措置

- ・火災の場合: 消火に適切な消火剤を使用すること。(P370+P378)
- ・吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は医師に連絡すること。(P304+P340+P312)
- ・気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。(P314)
- ・皮膚または髪に付着した場合: 皮膚を流水、シャワーで洗うこと。(P303+P353)
- ・眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
 その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
- ・眼の刺激が続く場合: 医師の診断、手当てを受けること。(P337+P313)
- ・暴露または暴露の懸念がある場合: 医師の診断、手当てを受けること。(P308+P313)

保管

- ・換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。(P403+P235)
- ・日光から遮断し、40℃以上の温度に暴露しないこと。(P410+P412)
- ・施錠して保管すること。(P405)

廃棄

- ・内容物、容器を都道府県または市町村の規則に従って廃棄すること。(P501)

化学物質・混合物の区分： 混合物
 化学名または一般名： データなし

成分	濃度範囲 (wt%)	分子式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化管法*1	安衛法*2	
無機銀付与の酸化チタン	< 1	Ag	第 1 種 82	137	7440-22-4
		TiO2	該当なし	191	13463-67-7
分散剤	微量	非公開	該当なし	該当なし	非公開
変色防止剤	微量	非公開	該当なし	該当なし	非公開
消臭剤	微量	非公開	該当なし	該当なし	非公開
香料	微量	非公開	該当なし	該当なし	非公開
エタノール	6-11	C6H6O	該当なし	61	64-17-5
水	微量	H2O	該当なし	該当なし	7732-18-5
ジメチルエーテル	85-90	C2H6O	該当なし	該当なし	115-10-6

*1 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律

*2 労働安全衛生法

4. 応急措置

吸入した場合： 被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 気分が悪い時など必要に応じて、医師に連絡または医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合： 水と石鹼で洗うこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。
 皮膚刺激が生じた時など必要に応じて、医師に連絡または医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。
 次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
 その後も洗浄を続けること。
 必要に応じて、医師に連絡または医師の診断、手当てを受けること。
 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合： 口をすすぐこと。
 気分が悪い時など必要に応じて、医師に連絡または医師の診断、手当てを受けること。

予想される急性症状および遅発性症状：

吸入： 気道の刺激、咳、頭痛、疲労感、し眠。

皮膚： 凍傷、皮膚の乾燥。

眼： 発赤、痛み、灼熱感。

最も重要な兆候および症状： 中枢神経系に影響を与えることがある。
 刺激、頭痛、疲労感、集中力欠如を生じることがある。

応急措置をする者の保護： データなし

医師に対する特別注意事項： データなし

5. 火災時の措置

消火剤:	粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素、水噴霧、乾燥砂等
使ってはならない消火剤:	データなし
火災時の特有危険有害性:	加熱により容器が爆発するおそれがある。 火災時に刺激性、腐食性および毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法:	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 容器が熱に晒されているときは、移さない。 安全に対処できるならば着火源を除去すること。
特有の消火方法:	火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。 消火活動は、可能な限り風上から行う。
消火を行う者の保護:	消火は風上から行い、蒸気、煙の吸入を避ける。 適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置:	屋内、密閉された場所に立入る前に換気する。 漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして人の立ち入りを禁止する。 関係者以外の立ち入りを禁止する。 風上に留まり、風下の人を避難させる。 着火した場合に備えて消火剤を準備する。 作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
環境に対する注意事項:	河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
封じ込めおよび浄化の方法および機材:	危険でなければ漏れを止める。 少量の場合は、ウエスなどに吸収させて、密閉できる空容器に回収する。 大量の場合は、盛り土で囲って流出を止めた後、安全な場所に導いて回収する。
二次災害の防止策:	すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。 ガスが拡散するまでその場所を隔離する。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い:	
技術的対策	眼、皮膚への接触や吸入を避けるための保護具を着用する。
局所排気・全体換気	換気ができる、または換気の良い場所で使用する。
安全取扱注意事項	使用前に「取扱説明書」を入手し、すべての安全注意を読み理解するまで使用しない。 換気の良い場所でのみ使用する。 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずるなどの取扱い

	をしてはならない。 容器には圧力をかけない。圧力をかけると破裂することがある。 容器は、溶接、加熱、穴あけ、または切断しない。 ミストが漂う密閉された場所に滞在しない。 他の製品と同時に使用しない。 この製品を使用する時に、飲食、または喫煙をしない。 炎や火気の近くで使用しない。 火の中に入れない。 使い切って捨てる。
接触回避	熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざける。一禁煙。 裸火または他の着火源に噴霧しない。 ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触を避ける。
衛生対策	取扱後は手や顔をよく洗う。
保管：	
安全な保管条件	熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけて保管する。 高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所や火気等の近くなど温度が 40℃以上となる所に置かない。 危険物の表示をして保管する。 施錠して保管する。 ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質と同一場所での保管を避ける。
安全な容器包装材料	データなし

8. 暴露防止および保護措置

管理濃度：	データなし
許容濃度：	データなし

成分	管理濃度	許容濃度(産衛学会*3)	許容濃度(ACGIH)
銀	設定されていない	0.01mg/m3	TWA 0.1mg/m3
酸化チタン	設定されていない	0.3mg/m3	TWA 10mg/m3
エタノール	設定されていない	設定されていない	STEL 1000ppm
ジメチルエーテル	設定されていない	設定されていない	設定されていない

*3 日本産業衛生学会

設備対策：	取扱い作業場には、局所排気装置、洗顔、手洗いの設備を設ける。 静電気放電に対する予防措置を講ずる。
-------	---

保護具：	
呼吸器の保護具	ミスト吸入を防ぐ保護マスク、防毒マスク(有機ガス用)など必要に応じて適切な呼吸器保護具を着用する。
手の保護具	必要に応じて適切な保護手袋を着用する。
眼の保護具	ゴーグル型などの適切な眼の保護眼鏡を着用する。
皮膚および身体の保護具	必要に応じて個人用の保護衣を着用する。

衛生対策： 取扱後は手や顔をよく洗う。

9. 物理的および化学的性質

物理的状态：

形状	液体
色	懸濁淡黄色
臭い	香料臭
pH	9.5 - 11.5

融点、凝固点： データなし

沸点、初留点および沸騰範囲： データなし（エタノール 78℃）

引火点： データなし（エタノール 13℃）

自然発火温度： データなし（エタノール 439℃）

燃焼性(固体、ガス)： データなし

爆発範囲： データなし（エタノール 3.3vol% - 19vol%（空気中））
（ジメチルエーテル 3.4vol% - 27vol%（空気中））

蒸気圧： データなし（エタノール 5.88kPa（20℃））

蒸気密度： データなし（エタノール 1.59（空気=1））

蒸発速度(酢酸ブチル=1)： データなし

比重(密度)： 0.65 - 0.75

溶解度： 水と混和

オクタノール/水分配係数： データなし（エタノール -0.30（log Pow））

分解温度： データなし

粘度： データなし（エタノール 1.20mPa・s（20℃））

10. 安定性および反応性

安定性： 通常の条件では安定
高圧ガスを使用したエアゾールのため、早めに使用する。

危険有害反応可能性： 酸化剤との接触を避ける。

避けるべき条件： 高温、加熱、熱源、裸火、凍結

混触危険物質との接触

混触危険物質： ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質

危険有害な分解生成物： データなし

11. 有害性情報

急性毒性：	経口	マウス LD50	5,000mg/kg（無機銀付与の酸化チタン）
		ラット LD50	7,060mg/kg（エタノール）
	経皮	ウサギ LDLo	20,000 mg/kg（エタノール）
	吸入(ガス)	ラット LC50	164,000ppm/4h（ジメチルエーテル）
	吸入(蒸気)	ラット LC50	20,000ppm/10h(31,600ppm/4h)（エタノール）

吸入(粉じん)	対象外	
吸入(ミスト)	ラット LC50	63,000ppm/4h(118mg/L) (エタノール)
皮膚刺激/腐食性:	ウサギ	無刺激性 (無機銀付与の酸化チタン)
	ウサギ	無刺激性 (エタノール)
眼損傷性/眼刺激性:	データなし	異物作用の結果として発赤することがある。(酸化チタン)
	ウサギ	中等度の刺激性 (エタノール)
		(気体状態のジメチルエーテルの刺激性は極めて少ない)
呼吸器感作性:	データなし	
皮膚感作性:	モルモット	陰性 (無機銀付与の酸化チタン)
		(液体状態のジメチルエーテルは凍傷をおこす)
生殖細胞変異原性:	エイムス試験	陰性 (無機銀付与の酸化チタン)
	エイムス試験	陰性 (エタノール)
発がん性:	製品は飲料ではないため、ACGIH の分類により区分外とした。(エタノール)	
生殖毒性:	区分 1A (エタノール)	
特定標的臓器毒性(単回暴露):	区分 3(気道刺激性、麻醉性) (エタノール)	
	区分 3(麻醉性) (ジメチルエーテル)	
特定標的臓器毒性(反復暴露):	区分 1(肝臓) (エタノール)	
	区分 2(中枢神経系) (エタノール)	
吸引性呼吸器有害性:	データなし	

12. 環境影響情報

水生環境有害性(急性):	魚類(ファットヘッドミノー)LC50	>100mg/L/96h (エタノール)
	甲殻類(ネコゼミジンコ)LC50	5012mg/L/48h (エタノール)
	藻類(クロレラ)EC50	1000mg/L/48h (エタノール)
水生環境有害性(慢性):	データなし	

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物:	都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託する。
汚染容器および包装:	都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託する。 分別できるものはリサイクルする。

14. 輸送上の注意

国際規制:	
国連分類	2.1
国連番号	1950
容器等級	該当なし
海洋汚染物質	非該当
国内規制:	
陸上輸送	消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。

海上輸送	海上輸送：船舶安全法等に定められている運送方法に従う。
航空輸送	航空法等に定められている運送方法に従う。
輸送の特定の安全対策	火気厳禁。取り扱い及び保管上の注意の項に従う。 輸送前に容器の破損、漏れのないことを確かめ、転落、落下、損傷がないように積み込み荷崩れ防止を確実に行う。 直射日光を避け、容器を 40℃以下に保ち、転落、落下、損傷がないように注意する。 その他関係法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

高圧ガス保安法:	施行令関係告示 第 139 号	
消防法:	危険物第 4 類引火性液体	
労働安全衛生法:	第 57 条の 2 通知対象物質	酸化チタン、銀、エタノール
化学物質管理促進法 (PRTR 法):		銀
毒物劇物取締法:	該当しない	
船舶安全法:	エアゾール	
航空法:	エアゾール	

16. その他の情報

SDS 改訂履歴:

2016 年 4 月 26 日 GHS 分類を参考に SDS 書式・全文の見直し改訂

略語の意味:

ACGIH	American Conference of Governmental Industrial Hygienists 米国産業衛生専門家会議 化学物質や物理的作用の許容濃度の勧告、生物学的暴露指標、発がん性の分類を公表
TWA	Time Weighted Average 時間加重平均(作業員が通常 1 日 8 時間、週 40 時間での許容値)
STEL	Short Term Exposure Limit 短時間暴露許容濃度(15 分間内における平均値が超えてはならない値)
LD50	Lethal Dose 50 半数致死量(1 回の投与で 1 群の実験動物の 50%を死亡させると予想される投与量)
LDLo	Lowest Published Lethal Dose 最小致死量
LC50	Lethal Concentration 50 半数致死濃度 (短時間の吸入暴露(通常 1 時間から 4 時間)で 1 群の実験動物の 50%を死亡させると予想される濃度)
EC50	Half Maximal (50%) Effective Concentration 半数影響濃度

参考資料:

日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告(2015)

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム

厚生労働省 GHS 対応ラベルおよび SDS の作成マニュアル

厚生労働省 職場のあんぜんサイト

経済産業省 事業者向け GHS 分類ガイダンス(平成 27 年 3 月版)

経済産業省 化学品の分類および表示に関する世界調和システム(GHS,改訂 5 版:2013,日本語仮訳)

安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、これを取扱う事業者提供されるものです。取扱う事業者は、これを参考として自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。

本製品安全データシートの記載内容は、現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。

以 上